



フラワー



行楽の秋★ドライブやお散歩をして、秋を満喫しました～♪

猫カフェまでドライブをしたり、施設の外で15時のおやつを召し上がったりと、行楽の秋を楽しんで頂きました。猫カフェでは、人懐っこく可愛い猫に癒されました♪また、外でのおやつは気候も調度よく、いい気分転換になったと喜んで頂きました(*^_^*)



フラワーハウス博多 基本理念

「親を安心して任せられるケアサービスの実践」を目指します。

当施設はご利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し、ご利用者を総合的に援助します。また家族や地域の人々、関係各機関と協力し、ご利用者が安心した在宅・施設生活が続けられるよう支援します。

これからも、「任せてよかった」と思って頂けるよう、人財を育成し、常にサービス内容の見直しを行い、よりよいサービスが実践できるよう、努めてまいります。



フ ラ ウ ー ハ ウ ス 博 多 施 設 概 要	
施設名称	社会福祉法人清風会 金隈老人保健施設 フラワーハウス博多
所在地	福岡市博多区金の隈3丁目24番8号
開設日	平成2年10月24日
定員	入所:140名(うち短期入所2床) 通所 : 20名
主な設備	4人部屋31室・2人部屋8室・リハビリテーション室 通所デイルーム・食堂・談話室 他
協力病院	(医)相生会 金隈病院【内科・リハビリテーション科・歯科】

フラワーハウス博多敬老会

平成26年9月15日

平成26年9月15日当施設にて敬老会を開催しました☆長寿をお祝いする大切な日に、日頃の感謝の気持ちを込めて、長寿の方への表彰や紅白饅頭の贈呈を行いました。今年も、ボランティアの方のご協力により、敬老会を盛り上げて頂きました。またご入所者自身にも、ご自慢の歌や芸を披露して頂き、最後には当日まで練習してきた体操を職員と一緒に踊りました。一人ひとりのご入所者が参加でき、楽しんで頂けるような会となりました。

長寿表彰・記念品贈呈

賞状と紅白饅頭をお渡しし、長寿のお祝いをしました。うれし涙を流される方もいらっしゃいました☆



ご入所者を代表して、
紅白饅頭の受け取りを
して頂きました☆



喜寿 (77歳)	1名
傘寿 (80歳)	5名
米寿 (88歳)	9名
卒寿 (90歳)	7名
白寿 (99歳)	1名
紀寿 (100歳)	3名

最高齢 102歳

ボランティア「天父報恩鼓」の方々による演舞

主に小学生から高校生までのメンバーで構成され、青少年の健全な育成を志し、平成12年よりボランティア活動をされています。これまで、各施設のイベントや高齢者施設への慰問、地域の夏祭り、また博多どんたくへの参加等、幅広く活動されています。「ソーラン節」や「乾杯さびら」という沖縄の民謡で、お祝いの際に歌われる曲を披露して下さいました。中高生とは思えないほど、迫力ある演舞に、ご入所者ならびに職員も、とても感動しました♪



ご入所者出し物披露

炭坑節や黒田節などを披露して頂きました♪職員の三味線に合わせて歌を披露される方もいらっしゃいました☆



ご入所者の皆様☆

いつまでも健康に留意され、ますます長寿を重ねられる事を心よりお祈り申し上げます☆

職員一同、より一層のケアの充実を図り、頑張りますのでこれからもよろしく申し上げます♪



2014

フラワーハウス博多 大運動会

10月8日(水)
10月9日(木)
開催

各フロア運動会を行いました♪玉入れや車椅子リレー、パン食い競走などの種目を、紅白に分かれ競いました!! 日頃のリハビリの成果を発揮しようと、真剣な表情で取り組まれていました☆勝利チームにはメダルを授与させて頂きました! 喜びの歓声をたくさん聞く事ができました♪



車椅子リレー



飴食い競走



パン食い競走



玉入れ



通所リハビリ



★納涼祭★ そうめん流しの竹は、職員が裏山に取りに行き、試行錯誤して作りました！
無事にそうめんが流れて、皆様大変喜ばれていました！



★敬老会★ 敬老の日のお祝いをしました！ボランティアの野菊の会の方々が、
三味線で懐かしい曲を演奏して下さいました☆



✿ ご利用者インタビュー ✿

デイケアに週5回利用されている三原 鏡子様をご紹介します。
毎朝、ご自宅へお迎えに伺うと玄関前のベンチで愛猫のクロちゃん
とぽかぽか暖かな日差しの中で待っている姿に職員一同、朝から
癒されます。手を大きく振りながら、杖も使わずシャキシャキと
歩かれる姿は93歳に見えないほど元気なお姿です。

唄を歌うのがとてもお好きで、特に民謡の『貝殻節』は手拍子と
掛け声を交えて大きな声で謡われ私達を楽しませて下さいます。
「デイケアにくるの楽しいよ。家にも、じーっとしているだけ
だから、ここに来て色々な人とお喋りするのが楽しいんよ。」と
いつもの素敵な笑顔で話してくださいました。



三原 鏡子 様 (93歳)

地域交流参加報告

平成26年10月5日(日) 月隈小学校

地域行事に参加するのは、初めてで緊張しましたが、当日、地域の皆さんが温かく迎えて下さったおかげで、緊張もほぐれ、楽しい話をしたり、冗談を言ったりと、和気あいあいと楽しく参加する事ができました。

皆さん、勝負になると熱くなり、応援にも力が入って、大きな声で叫んでいました☆ムカデ競走・障害物リレー・玉入れ・町内リレーなどたくさんの種目に参加しました！！特に、町内リレーの決勝ではとてつもないプレッシャーの中、足がもつれそうになりながらも次の走者にバトンを渡す事ができ、ホッとした事が一番印象に残っています。

地域の方々と仕事以外で交流できる機会はなかなかないので、いい経験になりました！
ありがとうございました(*^_^*)

【報告者】 介護職員 西岡朋恵



中学生職場体験

席田中学校より2名の男子中学生



「職業について学び、体験することで将来の生き方を考える」という目的のもと、3日間の日程で、4階フロアにて体験学習しました。中学校では野球部に所属しており、皆さんに大きな声で挨拶をしてきましたが、緊張しているせいか、最初はご利用者とのコミュニケーションがなかなか取れずにいました。ご入所者と一緒に行った、歌や体操・ゲームなどのレクリエーションを通して少しずつ打ち解けていき、ご入所者も「かわいいね〜」「元気やね〜」と嬉しそうにされていました☆花紙作りにも挑戦してもらい、ご入所者に教わりながら、一生懸命に取り組んでくれました♪作成した花紙は、施設の敬老会の飾りとして使用しました☆今回の職場体験にて学んだ事を良い経験とし、これからも様々な事に頑張ってもらいたいです☆

第9回家族交流会

平成26年11月15日(土) 開催

毎年、恒例となった家族交流会も第9回を迎えました。今回、約50名のご家族の皆様に参加頂き、スタッフ一同心より感謝しております。今年、「高齢者を支えるパートナーとして」というテーマのもと、スタッフによる劇(実演)や各体験コーナーを通じて、お年寄りの気持ち、身体の状態を知って頂き、私たち一人ひとりに何が出来るのか、皆様と一緒に考えていきました。

高齢者の特徴や介護のポイント等、スタッフによる実演・解説



職員がご利用者のご家族を演じ、更衣・車椅子・食事介助に関する劇を行いました。その後、劇中の介助の問題点や改善点などを詳しく解説させて頂きました。劇中の職員の熱演に、笑い声も聞かれ、和やかな雰囲気となりました。

おやつタイム、各体験・展示コーナーへの参加



ご入所者のおやつに提供しているケーキをご家族にも召し上がって頂きました☆皆さん、美味しいと好評でした！体験・展示コーナーでは、トロミ剤を使用したお茶の試飲や自助具の展示などを行いました。特に食事コーナーは興味を持たれるご家族が多くいらっしゃいました☆



1時間30分の長い時間となりましたが、最後まで参加頂きありがとうございました。また次回も皆様の心に残るような交流会を企画し、スタッフ一同お待ちしております。最後に、「高齢者を支えるフラワーハウスのスタッフとして…」ご入所の皆様一人ひとりが自分らしく、安心して生活して頂けるように、今後も思いやり・寄り添う気持ちを忘れずに努めて参ります。



《かぜとインフルエンザとは？》



●それぞれの違いを知って、適切な対処をしよう

12月から2月にかけて、かぜやインフルエンザが流行しやすい季節となります。日本人は平均すると年に5～6回も風邪をひくと言われていています。これから気温もますます下がり、かぜやインフルエンザの流行が予測される為、その予防には十分注意が必要です。ところで、普通のかぜとインフルエンザの違いを、皆さんご存じでしょうか？

かぜとは、ひとつの病気を指す正式な病名ではなく、病原体が鼻やのどなどに取り付いて起こるさまざまな症状の総称です。その多くは、のどの痛み、鼻みず、せきなどが長く続き、全身症状はあまり見られない、比較的軽い病気です。発熱もインフルエンザほど高くなく、微熱程度ですむことがほとんどですが、少々重めのかぜと、比較的軽いインフルエンザの場合には、なかなか区別が付きません。また、かぜは急激な温度変化や疲れなどから発症することもあります。

インフルエンザは、かぜの病原体とは違う、インフルエンザウイルスの感染でおこる病気です。ウイルスに感染すると、1～3日間の潜伏期間を経て、多くは突然の高熱で発症します。全身のだるさや筋肉関節の痛みをともなう全身症状の強い病気です。高齢者では肺炎、小児ではひきつけや脱水症、急性脳症などの合併症を起こすことがあり、ときには死に至ることもある病気としての認識も必要です。

●「かぜ」「インフルエンザ」の症状と対処法について

	かぜ	インフルエンザ
● ● ●		
症状の現れ方	局所 (のど・鼻)	全身
進行	ゆるやか	急激
発熱	ないか 37～38度くらい	40度前後
鼻水	ひき始めに出る	後から続く
せき	軽い	強い
頭・関節・筋肉痛	軽い	強い
寒気	軽い	強い



かぜは安静にし、体力を温存することが一番です。室温を20～25℃に保ち、加湿器などで保湿しましょう。十分な水分と、たんぱく質やビタミンが豊富な食事をしっかりとることも大切です。せきやくしゃみなどがひどければ、市販薬で症状を軽くすることで、体力の消耗を抑え、免疫の働きを助けます。

インフルエンザはかかったと思ったら、すぐに受診をして下さい。医師が処方する薬には、ウイルスに直接効くものがあります。インフルエンザは、市販薬では手に負えないうえ、悪化すると肺炎になる恐れがあります。医師が処方する薬を早期に飲み始めれば、症状が出ている期間を短くし、重症化を防ぐことができます。

●予防法について

自分でできる予防法は、かぜもインフルエンザも基本は同じ…ウイルスを寄せ付けないことです。

ウイルスは、寒さや乾燥を好む傾向がありますので、ていねいなうがいや手洗いの励行を徹底しましょう。また、マスクを着用することで、のどや鼻の粘膜を冷えや乾燥から守り、ウイルスが繁殖しにくくなります。マスクの内側に、湿らせたガーゼなどを当てておくと、一層予防効果が高くなります。インフルエンザウイルスは、マスクの織り目を楽に通過してしまうので、大きな効果は期待できませんが、他の人にうつすことを避けることができ、二次感染を防ぐことができます。インフルエンザは、ワクチンを予防接種することで、重症化を防ぐこともできます。



当施設では年4回季刊誌「フラワー」を発行して、ご利用者の皆様のご様子をお知らせしております。写真・氏名・年齢等を入れてご紹介しておりますが、差障りがございましたら、各部署責任者、または個人情報保護相談窓口ご利用下さい。

【個人情報保護相談窓口】

施設サービス：外尾保子・松本剛・川本和子

居宅サービス：松岡寛一



社会福祉法人 清風会 金隈老人保健施設 フラワーハウス博多

〒812-0863 福岡市博多区金の隈3丁目24番8号

TEL : 092-504-3355

FAX : 092-504-3851

URL : <http://www.seifu-kai.jp/>

E-mail : info-flower@seifu-kai.jp

